

令和5年度 新規常勤講師研修 年間指導計画（1）

学校名	種別	氏名
〇〇学校	新規常勤講師	〇〇 〇〇

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
2	般		音楽		体育
3		生活単元学習		生活単元学習	
4	体育	生活単元学習		生活単元学習	
5	生活単元学習	作業	美術	作業	参
6	生活単元学習	作業	参・般	作業	音楽

■ 記入上の注意等

- 新規常勤講師の他，新規常勤講師を指導する指導教員について作成すること。
なお，「種別」欄には，「新規常勤講師」，「指導教員」等と記入すること。
- 各マスの上段に「教科等」を記入すること。
- 各マスの下段に研修項目「般（一般研修として使用する時間）」「参（授業参観として使用する時間）」「参・般（授業参観もしくは一般研修で使用する時間）」を記入し，「黄色」で塗りつぶすこと。
※ 印刷は，白黒でよい。

【別添】

様式 2 - J

令和5年度 新規常勤講師研修 年間指導計画 (2)

記入例

学校名	課程・学部
〇〇学校	中学部

1 新規採用常勤講師及び指導教員

新規採用常勤講師				指導教員	
職員番号	氏名	担当教科	HR・学級担任	職名	氏名
〇〇〇〇〇	〇〇 〇〇	日生, 生単等	2の6副担	教諭	〇〇 〇〇

2 指導事項

月	実施日(曜)	研修項目		主な研修内容	時間数	指導者		
		選択	項目			役職等	氏名	
4	3日(月)	④	④ 基本的事項	教育公務員の使命と役割	1	校長	〇〇〇〇	
	6日(木)	④	④ 基本的事項	服務について	1	指導教員	〇〇〇〇	
	10日(月)	①	① 授業参観	中学部	1	教諭	〇〇〇〇	
	13日(木)	②	② 生徒指導	共感的生徒理解について	1	生徒指導部長	〇〇〇〇	
	日							
日								
日								
研修時間数		研修項目別時間数						総計
		①	②	③	④	⑤	⑥	
								総計90時間

指導予定者の役職等と氏名を記入

- ①～⑥を選択
①授業参観 ④基本的事項
②生徒指導 ⑤特別活動
③進路指導 ⑥その他

■ 記入上の注意等

- 研修項目については、
①授業参観(年間40時間)、②生徒指導、③進路指導、④基本的事項、⑤特別活動
⑥その他(①～⑤以外の内容)特別支援教育、人権教育、学校保健等 ※②～⑥の一般研修の合計は年間50時間程度
- 「主な研修内容」については、箇条書きとする。
- 「役職等・指導者名」については、実際に指導した者。役職等は「校長」「指導教員」「教務主任」等。

令和5年度 新規常勤講師研修 年間指導計画 (3)

記入例

学校名
〇〇学校

1 対象常勤講師

氏名	年齢	性別	免許	学部・学級 (HR) 担任	主な校務分掌	担当教科	担当授業時数	週研修時間	備考
1	b			小学部1-1副担			20	3	学校で1部にまとめて作成してください
2									
3									
4									
5									
6									

新規常勤講師の週当たりの担当授業時数の目安
 ・小学部担当; 23~25時間程度
 ・中学部担当; 19~21時間程度
 ・高等部担当; 18時間程度

3時間 × 30週 (計算) = 90時間

行が足りない場合は、増やして使用してください

2 新規常勤講師指導教員 (初任者指導教員との兼務可)

職名	氏名	年齢	性別	免許	経験年数	学部・学級 (HR) 担任	主な校務分掌	担当教科	担当授業時数	指導対象教員氏名	研修指導担当時数	備考
部主事	A				30(3)	小学部			10		3	

指導教員等としての経験年数は()内に記入

3 新規常勤講師後補充

職名	氏名	年齢	性別	免許	経験年数	HR・学級担任	主な校務分掌	補充担当教科	補充担当授業時数	補充対象指導教員氏名	備考
会計年度任用職員	C								135時間(年間)	b	

3時間 × 45週 (計算) = 135時間 (最大)

会計年度任用職員の場合は、経験年数の記入不要

指導教員の時間数の考え方
 ・新規常勤講師1人の指導時間3時間
 ・研修時間は、複数人を対象とできる。
 【初任者研修と重ねることができる】

■ 記入上の注意等

- ・ 2~3については、同一人物が複数の箇所に該当する場合はすべて記入
- ・ 年齢は令和6年4月1日現在
- ・ 免許は所有免許全てを「高専国」「中一教」と略称で記入
- ・ 学部学級 (HR) 担任は「小学部2-2副担」等と記入
- ・ 主な校務分掌は、部長及び主任の場合は「〇〇部長」「〇〇主任」と記入
- ・ 職名は「教諭」「常勤講師」「会計年度任用職員」「兼務教員」等記入
- ・ 経験年数は令和6年3月31日現在の公立学校本務教員の年数を記入 (非常勤講師は記入不要) + 「2 指導教員」の欄では、経験年数を () 内に記入
- ・ 兼務教員の場合は、本務校における状況を記入
- ・ 新規常勤講師研修に係る講師で、他校の新規常勤講師研修に係る講師を兼ねている者については、備考欄にその学校名、講師の種類、週当たりの担当時数等を記入
- ・ 講師のこれまでの経歴を備考欄に、「元校長(教員歴38年)」「元教諭(教員歴35年)+常勤講師(2年3月)」「常勤講師(3年)+会計年度任用職員(通算9月)」「教職経験なし」等記入

【別添】

様式4-J

令和5年度 新規常勤講師研修 指導報告書

記入例

学校名	課程・学部
〇〇学校	高等部

1 新規常勤講師及び指導教員

新規常勤講師				指導教員	
職員番号	氏名	担当教科	HR・学級担任	職名	氏名
〇〇〇〇〇	〇〇 〇〇	国語	2の6副担	教諭	〇〇 〇〇

2 指導事項

月	実施日(曜)	研修項目		主な研修内容	時間数	指導者		
		選択	項目			役職等	氏名	
8	日			研修実績に従って、「初任者研修年間指導計画(2)」と同じ要領で入力				
	日							
	日							
	日							

実際の指導者の役職等と氏名を記入

日								
日								
日								
研修時間数(合計) 4月~3月	研修項目別時間数							合計
	①	②	③	④	⑤	⑥	90	
	40	7	6	12	6	19		

4月からの研修時間①~⑥の合計